

IMJ NEWS LETTER

発行:一般社団法人 日本統合医療学会 本部 〒113-0023 東京都文京区向丘1-6-2 Email : info@imj.or.jp FAX : 03-3812-5167

「第1回国際アロマセラピー会議」 「第15回日本アロマセラピー学会学術総会」 開催報告

「第1回国際アロマセラピー会議 (ICA2012 : the 1st International Congress of Aromatherapy 2012)」 (組織委員長 : 塩田清二 昭和大学教授) が2012年8月31日(金)～9月2日(日)の3日間、国立京都国際会館(京都市)において国内外よりの招請講演者29名を含む700名以上の参加者を得て盛大に開催された。



組織委員長 : 塩田清二 昭和大学教授

これまで、国際会議は米国、ヨーロッパなどで地域ごとに開催されてきたが、本大会のように世界各国から、これほど多くのアロマセラピーの臨床家や研究者が一堂に会して開催された例は無く、まさに世界初の試みであった。

[\(http://www.ica2012.jp/\)](http://www.ica2012.jp/)



また、多くの海外参加者の中でも、2012年米国SI0 (Society for Integrative Oncology : 腫瘍統合医療学会) 会長でコロンビア大学臨床小児科学教授のカーラ・ケリー (Kara KELLY) 先生、Botanica2012会議主催者で The International Journal of Clinical Aromatherapy編集委員のリアノン・ハリス (Rhiannon HARRIS) 先生 (次頁写真) らは米国、並びに欧州での国際会議主催の直前にもかかわ



らず本会議にご参加戴き、諸外国におけるメディカルアロマセラピーの現状についてご紹介戴いた。

リアノン・ハリス (Rhiannon HARRIS) 先生

一方、併催された「第15回日本アロマセラピー学会学術総会」は「健康長寿社会の実現に向けたアロマセラピー」をメインテーマとして開催され、聖路加国際病院理事長の日野原重明先生をゲストとして御招きした市民公開講座はメインホールが満席となる1,800名余の参加者を得る盛況であった。

今回の国際会議、並びに学術総会の開催を通じて、近い将来、医療におけるアロマセラピーの実証的な学術研究と施術に関する世界的な基準の必要性が改めて認識され、それらの策定に向けた、より積極的で有機的な国際連携を含む活動の展開が急務であると確信するに至った。



市民公開講座でお話される日野原先生

本大会の開催を通じて、一人でも多くの一般市民（利用者の皆さん）もアロマセラピーを正しく理解するようになり、それに伴ってアロマセラピーが統合医療の中でますます重要なポジションを担うことを期待している。

【文責：「第1回国際アロマセラピー会議」組織委員会】